



# 知って楽しむ！筑波山地域ジオパーク



## 第3回 上高津エリア(ジオサイト)の見どころ

上高津貝塚ふるさと歴史の広場 復元竪穴住居

筑波山地域ジオパークには、地形や地質の見どころが集まったエリアが26か所あります。今回は、上高津エリア(ジオサイト)をご紹介します。このエリアでは地球が暖かい時期と寒い時期を繰り返して、結果として海面が変動してきたことを学ぶことができます。

### 上高津エリアとは

上高津エリアは、桜川右岸、穴塚から上高津にあたります。見どころである上高津貝塚は、縄文人が食べた貝が堆積したものです。地球は、約10万年周期で寒い時期(氷期)と暖かい時期(間氷期)を繰り返しています。間氷期には雪が溶けて海水が増えるため海面が上昇します。約1万2千年前、最終氷期が終わり、陸地に海が入り込みました。上高津貝塚の貝からも、霞ヶ浦が当時は海の入江だったことが分かります。

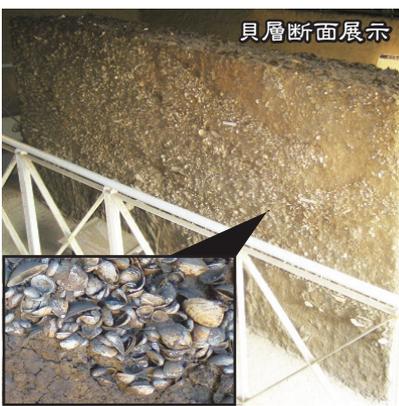


縄文時代の海域(濃青色)

このほかにも、多くの動植物が観察できる穴塚大池や、鎌倉時代の銘がある銅鐘をもつ般若寺など、さまざまな見どころがあります。地球の歴史と、自然と調和した人々の暮らしの営みを実感できる貴重なエリアです。

### 上高津貝塚

上高津貝塚は、国の史跡に指定されている縄文時代後晩期の貝塚です。貝塚は主に汽水産のヤマトシジミで構成され、周辺の低地が、当時海だった霞ヶ浦に流れ込む河口であったことを示しています。上高津貝塚ふるさと歴史の広場では、復元された竪穴住居や、貝層断面が展示されています。また、併設の考古資料館では、出土遺物からみた、縄文時代の暮らしを学ぶことができます。



貝層断面展示

般若寺は、平安時代に平将門の娘が開いたとされる古刹です。寺には、国指定重要文化財である銅鐘があります。銅鐘には鎌倉時代の銘があり、鎌倉の大仏の铸造にかかわった丹治久友ひさともの作とされています。

### 般若寺の銅鐘



般若寺の銅鐘

次回は、この上高津エリアの楽しみ方をご紹介します。

もっと知りたい！  
という方へ

筑波山地域ジオパーク  
ホームページ

右の二次元コードから



お問い合わせ

商工観光課(☎826-1111 内線2705)  
上高津貝塚ふるさと歴史の広場  
(☎826-7111)

